

インターネットトラブルを防ぐために

発行：岩見沢市教育委員会 指導室 青少年センター

オンラインカジノは犯罪です！

日本は、**刑法で賭博行為を禁止している**ので、オンラインカジノの利用は違法行為。
海外で合法的に運営しているオンラインカジノでも、**日本からアクセスして利用することは犯罪**になる。

「海外では合法だから利用しても大丈夫」は、まちがい！誤情報！

オンラインカジノとは？

Web 上を通じてゲームを行い、その結果に対して現金・電子マネー等を賭けるもの

※オンラインカジノの市場規模

- ・15 歳～79 歳までの国内利用者数は推計で「196.7 万人」
- ・年間の全賭額は「約 1 兆 2,423 億円」→20 代の利用率が最も高く、賭額 4,577 億円

※借金の経験（消費者金融、家族・知人・友人）→10 代では 61.1%が借金を経験

※オンラインカジノの違法性の認識 →10 代では 57.8%、20 代では 51.1%が認識

（出典：令和 6 年度警察庁委託研究「オンラインカジノの実態把握のための調査研究の業務委託」）

*オンラインカジノにはまる理由

- ・スマホで参加できる気軽さ
- ・大金獲得の可能性に期待
- ・インフルエンサーや SNS の影響
(You Tube, Instagram, TikTok など、
広告を出している。)

*オンラインカジノに手を出すリスク

- ・**賭博罪に問われる**
(刑法 185 条〔賭博罪〕賭博をしたものは、50 万円以下の罰金又は科料)
(刑法 186 条〔常習賭博罪〕常習として賭博をしたものは、3 年以下の懲役)
- ・**多額の借金を抱える**
(オンラインカジノは、クレジットカードや電子決済を利用しているため
金銭感覚が麻痺してしまうことが多い。)
- ・**ギャンブル依存症になる**
(「もう少しで勝てるかもしれない」「次は大当たりが出るはず」と考え、
ゲームから抜けられなくなる。)

*オンラインカジノと行動経済学

・オンラインカジノと感応逓減性（感じる度合いが次第に減る特性）

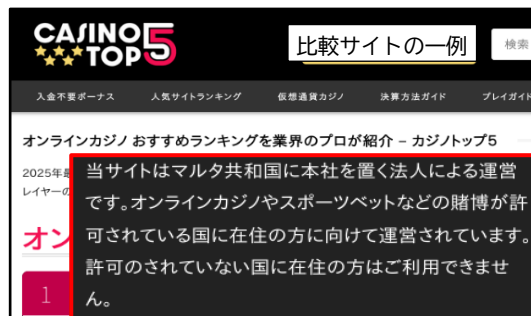
〔人間は、金額が大きくなると、感覚が鈍くなっていく、かつ正しい判断ができなくなってしまう。〕
オンラインカジノで 200 ドル稼いだときは、うれしくて興奮するが、一定金額を超えると、最初のような興奮がなくなる。同様に、最初の 200 ドルの負けは「どうしよう」と強い苦痛を感じるが、一定金額を超えると感覚が鈍くなり、「どうでもいい」というようになってしまい、損失額が膨らんでいく。

・オンラインカジノと価値関数（人が結果に対して感じる主観的な価値を表現した関数）

〔人は、利益を得るときの幸福感よりも損失を被る痛みのほうがはるかに強い。〕
オンラインカジノで勝っているときの感情の起伏よりも、負けた時の感情の起伏が激しくなり、損失額を取り戻そうと必死になってしまう。そして、さらに負け「感応逓減性」によって感覚がマヒしていく。

オンラインカジノは、オンラインゲームと同様に、行動経済学（人がどのように考え行動するのかを研究する学問）を利用して、ゲームをやめさせないようにつくられています。

私たち大人は、正しい知識をもち、フィルタリングなどを活用しながら、子どもたちがトラブルを起こさないようにしていかなければなりません。



©2025 岩見沢市教育委員会 指導室 青少年センター seishou@city.iwamizawa.lg.jp

TEL : 0126-33-3333

FAX : 0126-25-0777

今まで発行した「保護者向け インターネット啓発リーフレット」は、
岩見沢市ホームページ [岩見沢市青少年センター](#) [検索](#) で検索
*「校外生活のきまり」もご覧いただけます。

